

カチ の声

第 166 号

2021.01

目次

日本語上達のために (47)

カチニュース (お知らせ)

日本語 **上達** のために (47)



ないものを見よう

えんかつ いぶんか
一円滑な異文化間コミュニケーションのために

◇ 翻訳機があるのに、 なぜ日本語を勉強するの？

「여러분 안녕하세요. 저는 인천대학교 일어일문학과
직원교수 나카무라 유리입니다. 잘 부탁드립니다。」

これは、papagoの‘ウェブサイト 번역(ウェブサイト 翻訳)’を使って作った文章です。私は、翻訳機に以下の
うな日本語を入力しました。

「みなさん、こんにちは。私は、^{인천}仁川大学^가日本語日文学科
^{きゃくいんきょうじゆ}客員教授^{ねが}のなかむらゆりです。よろしくお願ひします。」

^{かんこく ごやく}上の韓国語訳、どうですか。とてもきれいですよね。

また、私は、‘^お발음듣기(発音を聞く)’のボタンも押してみ
ました。すると、^{かな}悲しいですが、私よりはるかに上手な
発音^{おんせい}の音声が聞こえてきました。

翻訳機がきれいな外国語の文章を作って、それをき
れいな発音で読んでくれる時代です。だったら、私たち
は、外国語なんて勉強しなくてもいいんじゃないでしょ
うか。みなさんは、翻訳機があるにもかかわらず、なぜ
日本語を勉強しているのでしょうか。

^{さいきん}最近の翻訳機はとても優秀^{ゆうしゅう}ですが、こんなに優秀な
翻訳機にも、できないことがあります。それは、何を翻

訳機に入力するかを考えることです。翻訳機は、入力された文章をきれいな外国語に翻訳することはできませんが、「韓国語ではそう言うけど、日本語では言わないよ」とか「韓国語では言わないけど、日本語ではこういう時にはこう言った方がいいよ」など、入力する内容そのものに対するアドバイスはしてくれません。私たちが外国語を学ぶ大きな理由の一つがここにあると、私は思います。



◇ 失礼な「ありがとうございます。」

さて、みなさんは、もちろん「ありがとう(ございます)。」というあいさつは知っていますよね。韓国語の‘감사합니다./고마워요./고마워.’などと同じ意味のあいさつですね。

では、この二つは、いつでも同じように使えるでしょうか。答えは「いいえ」です。韓国語と日本語では使うタイミングに少し違いがあります。そして、この違いを気にせずにこのあいさつを使ってしまうと、相手を不快にさせてしまう場合があります。

みなさんは、韓国語でメールを書く時、最後にどんなあいさつを書きますか。私が今までにもらった韓国語のメールは、だいたい最後に‘감사합니다.’と書かれていました。では、日本語のメールでも同じように、最後に「ありがとうございます。」と書くでしょうか。日本語のメールを受け取ったことがある人は、調べてみてください。日本語のメールの場合、最後のあいさつは相手との関係やメールの内容などによって異なりますが、最

後に「ありがとうございます。」と書くことは、ほとんどないと思います。

ですが、私が韓国の方からいただいた日本語のメールの最後には、日本語で「ありがとうございます。」と書かれていることが多かったです。おそらく韓国語の‘감사합니다.’を直訳したものだと思います。多くの場合、不自然だとは思いますが、別に嫌な気持ちにはなりません。ですが、特定の内容のメールの最後に「ありがとうございます。」と書かれていると、私はいつも少し嫌な気持ちになってしまいます。さて、どんな内容のメールか、みなさんは分かりますか。

それは、依頼(お願い)のメールです。依頼のメールの最後に「ありがとうございます。」と書かれていると、「私のお願いですから、もちろん聞いてくれますよね?! ありがとうございます!」と、私の意思を無視して、相手が勝手に結論を決めているように感じて、「失礼だな」と思ってしまいます。そして、これは私だけではないようで、同じ話を他の日本人たちからも聞いたことがあります。もちろん、メールを書いた人は、本当は失礼な人ではないと思いますし、私を嫌な気持ちにさせるためにメールを書いたのではないと思います。「このメールを読んでくださってありがとうございます。」という意味で書いてくれたのかもしれませんが、韓国語で考えた文章を単に直訳しただけかもしれません。ですが、頭ではそう分かっている、実際にこのようなメールを読むと、やはりいつも少し嫌な気持ちになってしまいます。

逆に、日本の人が話す‘감사합니다.’や‘고마워.’というあいさつが、韓国の方を不快にさせてしまうという話も聞いたことがあります。家族や親しい友人の間で、小さな親切に対していちいちお礼を言うと、相手に「いつまでもたっても親しくなれない」「距離を感じる」と思わせてしまうことがあるそうです。

◇ 二つの「ない」

上に書いた「失礼な『ありがとうございます。』」以外にも、直訳できない、直訳してはいけない表現が韓国語と日本語の間には(もちろん他の言語との間にも)たくさんあります。そして、こうした表現は、母語を基準にして思考している限り、いつまでたっても見えてきません。日本語の難しい漢字や単語、文法をたくさん知っている人でも、韓国語をそのまま日本語に翻訳している限りは、上の例のような誤解を招いてしまう恐れがあります。

私は、言葉はプレゼントのようなものだと思います。自分がいいと思って用意したプレゼントでも、相手にとって要らないものだったら意味がありませんし、相手が不快に思うものをプレゼントしてしまったら、相手との関係まで悪くなります。言葉もこれと同じで、相手に対する思いやりの気持ちから話したことで、受け取る人が不快に思ったら、それは思いやりではなくなってしまい、関係が悪くなってしまう恐れがあります。また、誕生日など、相手がプレゼントを期待している時に何もプレゼントをしないと、相手をがっかりさせてしまいますが、言葉もこれと同じで、相手が「この状況ではこんな言葉が聞きたい」と思っている時に、相手が望む言葉をかけてあげられないと、やはり相手をがっかりさせてしまいます。

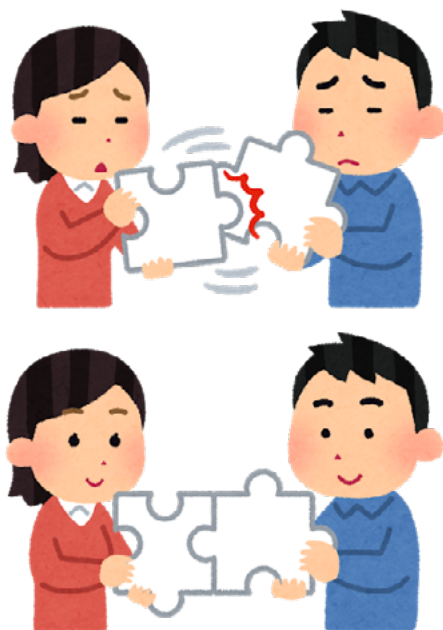
では、どうすればいいのでしょうか。相手が喜ぶプレゼントをするには、自分の好みや都合を押しつけるのではなく、相手の好みや状況を調べて、どんなタイミングでどんなプレゼントをあげたらいいかを把握するといいですよね。それと同じように、日本語でうまくコミュニケーションをとるためには、日本語の会話や日本語で書かれた文章をよく観察して、どんな状況でどんなことを話して(書いて)いるかを把握することが大切です。

す。特に、韓国語では言うはずのことを日本語では言わない時、韓国語では言わないことを日本語では言う時、この二つの「ない」に着目することが重要です。この二つの「ない」が、異文化間のコミュニケーションがうまく行くかどうかの力を握っているからです。

最後に、もう一度、みなさんに聞きます。みなさんは、なぜ日本語を勉強しているのでしょうか。もちろん、人によって理由は違うでしょうが、日本語を使って叶えたい夢があるからだと思います。そして、その夢を叶えるためには、日本語を使って自分の考えや希望を相手にうまく伝え、自分がしたいことを一つ一つ実現していく必要があると思います。上に書いた二つの「ない」に着目して日本語を身につけることで、日本語でうまくコミュニケーションがとれるようになりますよう、また、それを通してみなさんの夢が叶いますよう、心から願っています。

仁川大学日語日文学科客員教授

中村 有里





【映画監督田中絹代と躍動する女性たち】

1950年代～60年代の日本映画黄金期の代表的な女優の
作品を紹介する上映会を開催中です。上映会では、俳優だけ
ではなく、監督としても6作品を残した田中絹代の全作品を
韓国で初めて上映し、他にも原節子、高峰秀子等の女優4人
の代表作を紹介します。

- 会期** | 2021年1月6日(水)～1月31日(日)
会場 | ソウルアートシネマ(入場料8,000ウォン)
問い合わせ先 | 02-741-9782(ソウルアートシネマ)



【クォン・ナムヒ先生へのアンタクト(非対面)インタビュー】

質問大募集！

村上春樹、村上龍、益田ミリ、小川糸など、著名な日本の作家の作品を数多く手掛けた、
日本文学の代表翻訳家、クォン・ナムヒ先生。
皆様の質問にクォン先生が答えます。どうぞご期待ください！

参加方法

1月25日午後3時までに当センターInstagram、Facebookの投稿へのコメント
またはwebmaster@jpf.or.krにEメールで質問を送ってください。
先生が選ぶ「印象的な質問」を送ってくださった方には、
センターが用意した所定の記念品をさしあげます。

※すべての質問が採択されない場合がありますので、あらかじめご了承下さい。
※日本語、日本文学など、日本に関連する質問を歓迎します。

